

I

暮らしづくり

～便利で快適な質の高い生活ができるまち～

- ① 安全で安心につつまれた生活の確保
- ② 健やかで心安らかな暮らしの充実
- ③ 利便性の高い生活基盤の整備
- ④ 自然と調和した生活空間の創造

① 防災・減災対策の強化

拡充	防災対策事業費	6,259万円
		(前年度) 5,743万円
担当課	地域防災課	電話番号 74-8021

1. 本市の現状と課題

平成29年の九州北部豪雨、平成28年の熊本地震など、毎年大規模な自然災害が発生しており、平成29年度は氷見においても7月1日に観測史上最大の24時間降雨量202.5mmを観測し、また、10月には、台風21号による被害が発生しました。防災・減災のためには、より迅速・確実な情報伝達が求められています。

2. 平成30年度事業の内容


防災行政無線の管理運用を行うとともに、Jアラート機器の更改及び防災ラジオの配付による情報伝達手段の充実により、市の防災・危機管理体制の強化を図ります。

3. 目標値または実施により求める効果

機材の性能向上及び伝達手段の多重化により、防災情報をより迅速かつ確実に伝達します。

(単位:万円)

財源	市債	3,150	経費内訳	委託料	4,382
	市の負担	3,109		備品購入費	989
				その他	888



防災行政無線

新規	防災力向上事業費	2,277万円
		(前年度) -
担当課	地域防災課	電話番号 74-8021

1. 本市の現状と課題

平成29年12月に公表された富山県地震被害調査の結果では、市は邑知渦断層帯の地震により、氷見市に大きな被害が予測され、市内の多くの地区が孤立することが考えられます。地区においては助け合いと備蓄などにより、孤立化が解消されるまでの間、地区として自立運営していく必要があります。

2. 平成30年度事業の内容


国、県の動向を踏まえ地域防災計画の改定などを実施するとともに、防災士の資格取得の助成による地域の防災リーダーの育成及び避難所への備蓄品の分散配置などの避難所機能の整備を推進します。また、総合防災訓練による関係機関との連携及び防災・危機管理体制の充実などの地域防災力の向上を図ります。

3. 目標値または実施により求める効果

地域の防災リーダーの育成・配置、備蓄品などの機能整備による人的・物的な地域防災力の強化を図ります。また、総合防災訓練による市の総合的な防災力の向上を図ります。


(単位:万円)


財源	市債	360	経費内訳	補助及び交付金	590
	その他	525		消耗品費	383
	市の負担	1,392		その他	1,304




防災訓練の様子


② 消防・救急救助体制等の充実

新規	地区防災センター整備事業費	316万円
		(前年度) -
担当課	消防総務課	電話番号 30-7114
1. 本市の現状と課題		
市内20地区に防災活動の拠点施設として地区防災センターが整備されています。その中には老朽化した施設や手狭な施設もあり、改修などが必要となっています。		
2. 平成30年度事業の内容		
十二町分団車の更新に伴い、十二町地区防災センターの駐車スペースを確保するため車庫部分の増築工事及び腐食した外壁の改修工事を行います。		
3. 目標値または実施により求める効果		
ポンプ車の駐車スペースが確保され、室内環境への被害が改善されます。		
(単位:万円)		
財源	市の負担	316
経費内訳	工事請負費	285
	委託料	31
		
十二町地区防災センター		


継続	防火水槽新設事業費	3,290万円
		(前年度) 3,762万円
担当課	消防総務課	電話番号 30-7114
1. 本市の現状と課題		
現在、市内各地区には、火災時に対応できるよう防火水槽を設置していますが、住宅の増加などに伴う新たな防火水槽の設置や、設置からかなりの年数が経過している老朽化した防火水槽の計画的な更新が必要となっています。		
2. 平成30年度事業の内容		
消防施設整備計画に基づき計画的に防火水槽の整備を実施しており、平成30年度には市内3地区での更新を予定しています。		
3. 目標値または実施により求める効果		
耐震性の防火水槽を整備することにより、地震などの災害時にも使用できます。また有蓋化することで環境の改善を図ります。		
(単位:万円)		
財源	市債	3,290
経費内訳	工事請負費	2,980
	委託料	210
	補償金	100
		
耐震性防火水槽		

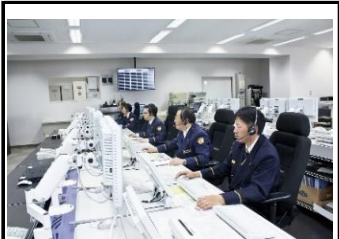
② 消防・救急救助体制等の充実

拡充	消防自動車購入費	1億403万円										
		(前年度) 1,518万円										
担当課	消防総務課	電話番号 30-7114										
1. 本市の現状と課題												
<p>消防本部・消防署、消防団には、火災などに対応するため消防ポンプ自動車を配備していますが、その中には導入からかなりの年月が経過し、老朽化が著しい車両もあります。修理部品も入手困難となっており、機能の低下により消防活動に支障をきたす恐れもあることから、計画的な更新が必要です。</p>												
2. 平成30年度事業の内容												
<p>老朽化が著しいはしご車を更新し、多目的消防ポンプ自動車を配備します。また十二町分団の消防ポンプ自動車も更新し、最新鋭の消防ポンプ自動車を配備します。</p>												
3. 目標値または実施により求める効果												
<p>最新鋭の消防ポンプ自動車を配備し消防力の維持・強化を図ることで、市民の安全・安心につなげます。</p>												
		(単位:万円)										
財源	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">市債</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">10,390</td> </tr> <tr> <td>市の負担</td> <td style="text-align: right;">13</td> </tr> </table>	市債	10,390	市の負担	13	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">経費内訳</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">備品購入費 10,371</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">旅費 28</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">保険料 4</td> </tr> </table>	経費内訳	備品購入費 10,371		旅費 28		保険料 4
市債	10,390											
市の負担	13											
経費内訳	備品購入費 10,371											
	旅費 28											
	保険料 4											
		 <p>多目的消防ポンプ自動車</p>										

継続	小型動力ポンプ購入費	247万円						
		(前年度) 243万円						
担当課	消防総務課	電話番号 30-7114						
1. 本市の現状と課題								
<p>現在、市内には52台の小型動力ポンプが配備されていますが、配備からかなりの年数が経過し老朽化の著しいものや旧型のため重く、少人数での操作が困難なものがあることから、地域の消防力の維持のためにはポンプの更新を計画的に行う必要があります。</p>								
2. 平成30年度事業の内容								
<p>中山間地域に配備されている老朽化した小型動力ポンプを更新するもので、平成30年度は、小境地区、吉岡地区、熊無地区の小型動力ポンプを更新します。</p>								
3. 目標値または実施により求める効果								
<p>軽量化により消火活動が容易になり、火災の初期消火や林野火災の防御に威力を発揮します。</p>								
		(単位:万円)						
財源	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">市債</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">240</td> </tr> <tr> <td>市の負担</td> <td style="text-align: right;">7</td> </tr> </table>	市債	240	市の負担	7	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">経費内訳</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">備品購入費 247</td> </tr> </table>	経費内訳	備品購入費 247
市債	240							
市の負担	7							
経費内訳	備品購入費 247							
		 <p>小型動力ポンプ</p>						

② 消防・救急救助体制等の充実

拡充	石油貯蔵施設立地対策等事業費	344万円			
		(前年度) 248万円			
担当課	消防総務課	電話番号 30-7114			
1. 本市の現状と課題 火災などの災害活動時、隊員の安全管理・安全装備は必要不可欠となっていますが、その装備品の中には導入からかなりの年月が経過し、機能が低下した装備品があることから計画的な更新が必要です。					
2. 平成30年度事業の内容 現在着用している防火衣が、経年劣化により防火性能が著しく低下しており、消火活動時などの安全確保のため順次更新します。					
3. 目標値または実施により求める効果 消火活動時などの隊員の安全確保が図られます。					
		(単位:万円)			
財源	県の負担	219	経費内訳	備品購入費	344
	市の負担	125			
					
					防火衣一式

新規	高機能消防指令センターシステム改修事業費負担金	7,096万円			
		(前年度) -			
担当課	消防総務課	電話番号 30-7114			
1. 本市の現状と課題 氷見市・高岡市・砺波地域消防組合で共同運用している高機能消防指令システムは、24時間・365日フル稼働し、停止することができないシステムであり、通常使用のコンピュータに比べ多大な負荷がかかっています。そのため、定期的な改修をしないと重大なトラブルを起こすおそれがあります。					
2. 平成30年度事業の内容 高機能消防指令センターシステムの機能維持を図るため、情報系(コンピュータ系)機器を更新し、構成市で案分し負担金を支払います。					
3. 目標値または実施により求める効果 現行システムを更新することにより、機器のトラブルを防止します。また、システムがより使いやすくなるため、出動までの時間短縮につながります。					
		(単位:万円)			
財源	市債	5,320	経費内訳	負担金	7,096
	市の負担	1,776			
					
					県西部消防指令センター

② 消防・救急救助体制等の充実

886万円

新規 消防出張所整備事業費

(前年度)

-

担当課 消防総務課

電話番号

30-7114

1. 本市の現状と課題

高齢化社会の到来や能越自動車道の開通などにより、本市の火災や救急出場件数が増加傾向にあります。また、集中豪雨や地震・津波などの自然災害に対する対応に加え、テロ対策などの特殊災害に対する備えなど、市民の生命・財産を守るため、消防・救急救助体制、機能の強化が求められています。

2. 平成30年度事業の内容

消防・救急救助体制の強化を図るため、救急出場の3分の1を占める市南部地区に出張所新設を計画し、建設予定地の地質調査及び設計を行います。

3. 目標値または実施により求める効果


市南部地区において、現場到着時間が短縮され、より早く消火活動や救急活動に着手できます。


(単位:万円)

財源	市債	880	経費内訳	委託料	886
	市の負担	6			





③ 災害に強い地域づくり

継続	地域ぐるみ除排雪促進事業費	300万円			
		(前年度)	300万円		
担当課 地域振興課		電話番号	74-8013		
1. 本市の現状と課題					
冬期間の中山間地域では、地域内の狭い道路に通常の除雪機が入れず、また、ひとり暮らし高齢者の自宅では除雪を行うことができないことから、日常生活に支障をきたしています。					
2. 平成30年度事業の内容					
公共用道路などの除排雪作業や自力で除雪が困難な高齢世帯の除雪支援などを行う自治会などに対し、冬期間における交通の確保や地域の生活環境の向上のために、市が除雪機械を購入し、4地区に対しその貸付を行います。					
3. 目標値または実施により求める効果					
冬期間における地域の安全・安心を確保します。					
(単位:万円)					
財源	市債	280	経費内訳	備品購入費	300
	市の負担	20			
					
自治会に対する除雪機械の貸与					


継続	県単治山事業費	300万円			
		(前年度)	2,650万円		
担当課 ふるさと整備課		電話番号	30-7071		
1. 本市の現状と課題					
市内には長年の風雨により荒廃した山地があり、そこから生じる山地災害により公共施設や住宅へ被害を及ぼす危険があります。					
2. 平成30年度事業の内容					
上田地区にて山腹工(L=10m)を実施し、斜面の安定を図ります。					
3. 目標値または実施により求める効果					
山地災害の復旧を図り、被害を防ぐことにより、安心した生活を確保します。					
(単位:万円)					
財源	県の負担	150	経費内訳	工事請負費	250
	市債	110		委託料	50
	市の負担	40			
					
山腹工の一例(吹付法砕工)					


③ 災害に強い地域づくり

継続	県営中山間地域防災減災事業費負担金		950万円		
			(前年度) 1,690万円		
担当課	ふるさと整備課	電話番号	30-7011		
1. 本市の現状と課題					
<p>市内には現在39箇所の防災重点ため池があり、地震などにより堤体が決壊した場合、周辺の人家や公共施設などに甚大な被害をもたらす恐れがあります。</p> <p>しかし、ため池の整備には多額の費用と相当の期間が必要となります。</p>					
2. 平成30年度事業の内容					
加納新池(継続)、島山池(継続)、新保大池(新規)の改修を行います。					
3. 目標値または実施により求める効果					
災害を未然に防止するとともに農業生産の維持と農業経営の安定を図ります。					
(単位:万円)					
財源	市債	850	経費内訳	負担金	950
	市の負担	100			
					
			防災重点ため池の整備		

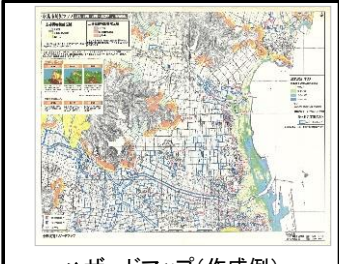
継続	農村地域防災減災事業用排水施設整備事業費負担金		390万円		
			(前年度) 350万円		
担当課	ふるさと整備課	電話番号	30-7011		
1. 本市の現状と課題					
<p>十二町潟排水機場は昭和54年～58年にかけて造成された施設であり、機械排水による乾田化と浸水被害の防止を図っています。しかし電気設備の耐用年数が経過し老朽化が進行しているため、重故障が発生する可能性が高く、洪水時に重なれば浸水被害が発生する恐れがあります。</p>					
2. 平成30年度事業の内容					
十二町導水路整備工事を行います。					
3. 目標値または実施により求める効果					
施設の長寿命化を図るとともに、農業生産の維持及び農業経営の安定を図ります。					
(単位:万円)					
財源	市債	350	経費内訳	負担金	390
	市の負担	40			
					
			十二町導水路整備		


③ 災害に強い地域づくり

継続	農村防災施設整備事業費負担金		975万円		
			(前年度) 750万円		
担当課		ふるさと整備課	電話番号 30-7011		
1. 本市の現状と課題					
近年、全国で農業用ため池での転落事故が多発しており、県内でも、平成27年に砺波市で転落事故が発生しています。農業用ため池は、本市においても各地に点在しているため、転落事故が発生しないよう対策を講じる必要があります。					
2. 平成30年度事業の内容					
市内の農業用ため池15箇所に、恒久安全柵などを設置します。					
3. 目標値または実施により求める効果					
農業用ため池に安全施設を整備することにより、地域住民の安全を確保します。					
(単位:万円)					
財源	市債	870	経費内訳	負担金	975
	市の負担	105			
					
			ため池に安全柵等を設置		

拡充	市単河川改修事業費		3,200万円		
			(前年度) 2,958万円		
担当課		ふるさと整備課	電話番号 30-7071		
1. 本市の現状と課題					
市内には、出水時に慢性的な浸水被害を受けている地区があり、その原因となっている河川の改修を進める必要があります。					
2. 平成30年度事業の内容					
泉川(下田子地内)ほか7河川について、河道の掘削や護岸工事を行います。					
3. 目標値または実施により求める効果					
大雨による浸水被害の解消を図り、安心して暮らせる環境を整備します。					
(単位:万円)					
財源	市債	2,800	経費内訳	工事請負費	3,200
	市の負担	400			
					
			改修前の河川(水草の繁殖等)		

③ 災害に強い地域づくり

新規	緊急浸水対策事業費	2,147万円			
		(前年度)	-		
担当課 ふるさと整備課		電話番号	30-7071		
1. 本市の現状と課題					
<p>昨年7月1日の豪雨災害を受け、明らかとなった浸水対策の課題に対応するため、浸水した地区の具体的な浸水対策が求められています。</p>					
2. 平成30年度事業の内容					
<p>緊急浸水対策計画策定調査により、現状の調査、課題の整理、対策の検討を行います。</p> <p>平成29年度の概略設計に基づき、南部地区浸水対策神代排水路の実施設計を行います。</p> <p>氷見市6河川の浸水ハザードマップ及び土砂災害ハザードマップを作成します。</p>					
3. 目標値または実施により求める効果					
<p>調査を基に立案された有効的な浸水対策を実施することで、浸水被害の早期軽減を図ります。</p> <p>ハザードマップにより、危険性の周知とともに減災意識の高揚を図ります。</p>					
(単位:万円)					
財源	国・県の負担	957	経費内訳	委託料	2,109
	その他	1,060		使用料及び賃借料	22
	市の負担	130		消耗品費	16
					
			ハザードマップ(作成例)		

拡充	急傾斜地崩壊防止対策事業費	700万円			
		(前年度)	100万円		
担当課 ふるさと整備課		電話番号	30-7071		
1. 本市の現状と課題					
<p>市内においては急傾斜地に隣接する家屋がおよそ二千軒あり、土砂災害による市民及び住宅への影響を未然に防ぐことが求められています。</p>					
2. 平成30年度事業の内容					
<p>小杉地区の急傾斜地崩壊危険区域の指定地の申請を行います。</p> <p>また、同所の急傾斜地崩壊防止対策工事の測量設計を行います。</p>					
3. 目標値または実施により求める効果					
<p>土砂災害の危険から市民の生命と財産を守り、安心して暮らせる生活環境の確保を図ります。</p>					
(単位:万円)					
財源	県の負担	350	経費内訳	委託料	700
	市債	350			
					
			崩壊防止対策工事(例)		

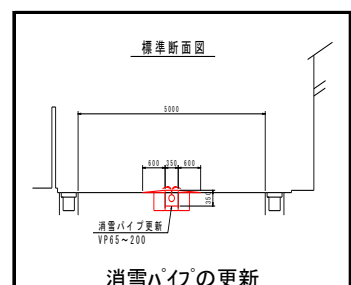
③ 災害に強い地域づくり

継続	除雪対策事業費		1億500万円		
			(前年度)	1億500万円	
担当課		道路課	電話番号	30-7070	
1. 本市の現状と課題					
冬季の円滑な交通を確保するため、きめ細かく除雪を行う必要があります。					
2. 平成30年度事業の内容					
平成29年度豪雪の際の課題を教訓とした除雪計画を立案し、冬期間の道路の安全を図ります。					
3. 目標値または実施により求める効果					
きめ細やかな除雪の実施により、円滑な交通の確保を図ります。					
(単位:万円)					
財源	国の負担	1,980	経費内訳	賃借料	4,988
	市の負担	8,520		委託料	2,838
				その他	2,674



除雪の様子

継続	消雪施設リフレッシュ事業費		3,329万円		
			(前年度)	1,667万円	
担当課		道路課	電話番号	30-7070	
1. 本市の現状と課題					
市内の消雪施設は、大半が設置後20年を経過しているため、配管の漏水や散水不良による不具合が生じています。このため、老朽化した消雪施設の改修や更新が必要となっています。					
2. 平成30年度事業の内容					
中央町第二工区(中央町地内)ほか2工区について、取水施設開閉機、ポンプ操作盤の更新及び、散水管の布設替を行います。					
3. 目標値または実施により求める効果					
老朽化した消雪施設を更新することにより、冬期間の円滑な交通環境を確保します。					
(単位:万円)					
財源	国の負担	1,800	経費内訳	工事請負費	3,189
	市債	1,340		その他	140
	市の負担	189			



③ 災害に強い地域づくり

継続	地域ぐるみ除排雪促進事業費	618万円			
		(前年度) 597万円			
担当課 道路課		電話番号 30-7070			
1. 本市の現状と課題					
地域における生活道路や幅員の狭い道路の除排雪については、市直営では行き届かない面があるため、地域協働の観点から地域ぐるみの除排雪を推進する必要があります。					
2. 平成30年度事業の内容					
新たに地域ぐるみ除排雪に取り組むこととなった地区へ配備するために、小型除雪機械を1台購入します。					
3. 目標値または実施により求める効果					
地域ぐるみの除排雪に対する支援を行うことにより、地域における冬期間の円滑な交通環境を確保します。また、地域ぐるみ除排雪に取り組んでいただける地域の拡大を図ります。					
(単位:万円)					
財源	県の負担	205	経費内訳	備品購入費	616
	市債	410		保険料	2
	市の負担	3			




小型ホイールローダー


継続	除雪機械購入事業費	934万円			
		(前年度) 2,631万円			
担当課 道路課		電話番号 30-7070			
1. 本市の現状と課題					
中山間地に配備されている除雪機械を、リース車から市有車に切り替え、リース期間外の降雪に対応できるようにします。					
2. 平成30年度事業の内容					
タイヤショベル6t級、1台を購入します。					
3. 目標値または実施により求める効果					
山間地におけるリース期間外の除雪に対応できるように、リース車に代わり市有車を配備し、冬期間の円滑な交通環境を確保します。					
(単位:万円)					
財源	市債	870	経費内訳	備品購入費	932
	市の負担	64		保険料	2



除雪車

③ 災害に強い地域づくり

継続	道路構造物補修事業費	4,592万円			
		(前年度)	5,100万円		
担当課 道路課		電話番号 30-7070			
1. 本市の現状と課題					
道路構造物(トンネル、橋梁、BOXカルバート)は、国の指導により、定期的な点検が義務づけられています。この定期点検で不都合のあった箇所については、早急に修繕などの対応をとる必要があります。					
2. 平成30年度事業の内容					
JR跨線橋1橋及び、余川地内百谷トンネルほか3箇所について、近接目視による定期点検を行います。余川地内の片畑百谷BOXについては、補修設計や補修工事を行います。					
3. 目標値または実施により求める効果					
道路構造物の定期点検により、損傷箇所の早期発見・早期対応に努め、安全・安心な交通環境を確保します。					
		(単位:万円)			
財源	国の負担	2,524	経費内訳	委託料	3,000
	市債	970		工事請負費	1,500
	市の負担	1,098		その他	92
					
				トンネルの点検	

拡充	橋りょうリフレッシュ事業費	1億1,792万円			
		(前年度)	7,361万円		
担当課 道路課		電話番号 30-7070			
1. 本市の現状と課題					
住民の安全・安心な生活環境と円滑な交通環境を確保するため、老朽化が進む橋梁の補修を計画的に行い橋梁の長寿命化を推進する必要があります。					
2. 平成30年度事業の内容					
伊勢大町地内永芳橋ほか5橋について補修工事を行うとともに、今後修繕予定の橋梁について補修設計を行います。					
3. 目標値または実施により求める効果					
老朽化した橋梁の長寿命化を推進することによって、住民の安全・安心な生活環境と円滑な交通環境を確保します。					
		(単位:万円)			
財源	国の負担	4,662	経費内訳	工事請負費	9,710
	市債	7,130		委託料	1,600
				その他	482
					
				鍛冶屋橋(鋼製桁橋)	

③ 災害に強い地域づくり

拡充	防災安全交付金下水道施設整備事業費 【下水道特別会計	5億6,210万円
	(前年度)	1億700万円
担当課	上下水道課	電話番号 74-8081

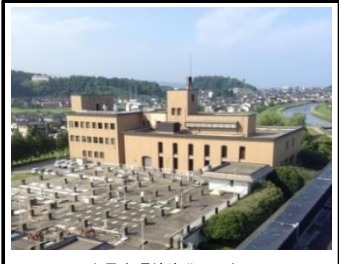
1. 本市の現状と課題
氷見市環境浄化センターは供用開始から35年が経過しており、施設の老朽化が問題となっています。

2. 平成30年度事業の内容
「長寿命化計画」に基づき、受変電設備・汚泥系脱臭設備の更新工事及び受変電設備の入る管理棟の耐震補強工事を行います。また、計画的な改築事業を行うため「ストックマネジメント計画」を策定します。

3. 目標値または実施により求める効果
下水道施設の事故発生や機能停止の未然防止とライフサイクルコストの縮減を図ります。

(単位: 万円)

財源	国の負担	29,600	経費内訳	工事請負費	51,864
	市債	24,920		委託料	3,846
	使用料	1,690		その他	500



氷見市環境浄化センター

新規	海岸保全施設老朽化対策事業費	1,480万円
		(前年度) -
担当課	水産振興課	電話番号 30-7055


1. 本市の現状と課題
市が管理する海岸保全区域内の堤防や護岸等の施設は、国土保全の観点から重要であることから、それらの点検と健全度評価を実施し、長寿命化計画を策定したうえで、適切な管理を行っていく必要があります。

2. 平成30年度事業の内容
海岸施設の点検と健全度評価及び長寿命化計画の策定をします。

3. 目標値または実施により求める効果
海岸保全施設において、予防保全型の効率的で効果的な維持管理を行っていきます。

(単位: 万円)

財源	県の負担	1,480	経費内訳	委託料	1,480



数田漁港海岸(離岸堤)

④ 日常生活の安全の確保

継続	交通安全対策費	451万円			
		(前年度) 487万円			
担当課	環境防犯課	電話番号 74-8068			
1. 本市の現状と課題					
人命尊重の理念に基づき、交通事故のない社会を目指します。交通事故発生件数は減少傾向にあるものの、昨年度、市内においても交通死亡事故が発生していることから、引き続き関係機関・団体と連携を図り、積極的な交通安全対策を推進します。					
2. 平成30年度事業の内容					
交通弱者といわれる子どもや高齢者の交通事故防止対策の推進を図ります。園児や児童に対する交通安全教室や高齢者を対象とした体験型の交通安全教室を開講します。また、関係機関・団体とも連携し、交通安全啓発活動や反射材などの普及活動を行い、交通事故のないまちづくりを推進します。					
3. 目標値または実施により求める効果					
交通事故のない社会を実現することが、究極の目標であり、「事故にあわない、おこさない」という交通安全意識を広く市民に周知することで、悲惨な交通事故の発生を抑止します。					
(単位:万円)					
財源	県の負担	41	経費内訳	委託料	242
	市の負担	410		報償費	91
				その他	118




園児に対する交通安全教室


継続	高齢者運転免許自主返納支援事業費	229万円			
		(前年度) 229万円			
担当課	環境防犯課	電話番号 74-8068			
1. 本市の現状と課題					
運転に不安を持つ高齢者が、自主的に運転免許を返納しやすい環境をつくり、高齢者による交通事故抑制を図り、市民が安全、安心に暮らすことができる交通社会を推進します。					
2. 平成30年度事業の内容					
満70歳以上の市民で、有効期間内のすべての運転免許を自主返納された方に対し、運転経歴証明書の発行手数料と公共交通機関利用費(2万円分)を支援します。					
3. 目標値または実施により求める効果					
交通事故の抑制及び公共交通機関の利用促進を目指し、安全で安心な社会環境につなげます。					
(単位:万円)					
財源	市の負担	229	経費内訳	市の負担	229




高齢者運転免許返納事業


④ 日常生活の安全の確保

継続	防犯対策費	110万円	
		(前年度)	110万円
担当課 環境防犯課		電話番号	74-8068
1. 本市の現状と課題			
<p>犯罪は広域化、凶悪化するとともに、その手口が巧妙化しており、実効性のある防犯対策を実施していく必要があります。犯罪のない社会の実現に向け、引き続き関係機関・団体と連携した啓発活動やパトロール活動などの各種防犯活動を効果的に実施して、安全・安心なまちづくりを推進します。</p>			
2. 平成30年度事業の内容			
<p>水見市防犯協会へ助成を行うことにより、関係機関・団体と連携した啓発活動やパトロール活動を実施します。また、年4回、「地域安全ニュースひみ」を発行するとともに、カギかけキャンペーンと特殊詐欺防止活動などを通じて、防犯意識の向上及び犯罪の発生抑止を図ります。</p>			
3. 目標値または実施により求める効果			
<p>犯罪被害ゼロの社会を実現することが、究極の目標であり、地域を上げた啓発活動や、パトロール活動を推進することで、犯罪を起こさせない、安全で安心な社会環境につながります。</p>			
(単位:万円)			
財源	市の負担	110	経費内訳
			 <p>年末特別警戒出発式</p>

継続	カラスが住みにくいまちづくり事業費	198万円	
		(前年度)	227万円
担当課 環境防犯課		電話番号	74-8065
1. 本市の現状と課題			
<p>カラスの糞被害が景観を損ねており、市民の糞掃除が負担となっています。糞害など被害を防止するため、市民と協働でカラスの住みにくいまちづくりを進めています。</p>			
2. 平成30年度事業の内容			
<p>モデル地区を中心に、市民や関係機関と連携しながら、カラス糞の清掃除去を実施します。また、ごみステーションで使用する「カラス対策用ごみネット」の支給や追払い機の自治会への貸し出しを行います。</p>			
3. 目標値または実施により求める効果			
<p>カラスが集合する原因となる生ごみ対策や、電線などをねぐらとするカラスの追い払いを行うとともに、清掃を充実させカラスの糞害の減少を目指します。</p>			
(単位:万円)			
財源	市の負担	198	経費内訳
			 <p>高圧洗浄機による清掃の様子</p>

④ 日常生活の安全の確保

継続	交通安全施設整備事業費	736万円	
		(前年度)	516万円
担当課 道路課		電話番号	30-7070
1. 本市の現状と課題			
交通事故の危険性が高い箇所について、交通事故を未然に防ぐため、反射鏡や防護柵等交通安全施設を整備する必要があります。			
2. 平成30年度事業の内容			
朝日本町地内氷見高校1号線のほか、通学路安全点検や地区からの要望に基づき、対策が必要と判断した箇所に反射鏡や防護柵を設置します。			
また、JA中央共済会から寄付を受けた反射鏡を、見通しの悪い箇所に設置します。			
3. 目標値または実施により求める効果			
交通安全施設を整備することにより、交通事故の防止に努めます。			
(単位:万円)			
財源	市の負担	736	経費内訳
			工事請負費
			736
			
			氷見高校1号線

継続	交通安全施設営繕費	610万円	
		(前年度)	1,146万円
担当課 道路課		電話番号	30-7070
1. 本市の現状と課題			
老朽化あるいは損傷の激しい交通安全施設については、安全な交通環境を確保するため、速やかに修繕を行う必要があります。			
2. 平成30年度事業の内容			
鞍川地内鞍川稲積線ほかの防護柵について、ガードレールや転落防止柵に更新するなどの修繕を行います。			
また、必要に応じて、交通安全施設の修繕を随時行います。			
3. 目標値または実施により求める効果			
老朽化や損傷の激しい交通安全施設を更新することにより、交通環境の安全性を確保します。			
(単位:万円)			
財源	市の負担	610	経費内訳
			修繕料
			610
			
			鞍川稲積線

④ 日常生活の安全の確保

継続	鳥獣被害防止対策事業費		4,813万円		
			(前年度) 5,146万円		
担当課 農林畜産課		電話番号 74-8086			
1. 本市の現状と課題					
<p>市内におけるイノシシなどの野生動物の被害は、電気柵などの農作物を守る取り組みにより減少しておりますがイノシシの捕獲数は年々増加しております。</p>					
2. 平成30年度事業の内容					
<p>農地周辺や集落周辺にある収穫しなくなった放任果樹の伐採を集落ぐるみで取り組む集落環境管理に対し助成をします。また、電気柵やワイヤーメッシュ柵の設置に対する助成や加害個体の捕獲を行います。道路やため池の法面などをイノシシが掘り起こす被害を減少させるため、その対策について研究調査します。</p>					
3. 目標値または実施により求める効果					
<p>集落環境管理などの実施により、野生動物の集落周辺への近づきが少なくなり、農作物への被害が減少します。</p>					
(単位:万円)					
財源	基金繰入金	1,910	経費内訳	委託料	3,265
	市の負担	2,903		補助及び交付金	1,232
			その他	316	



水田に侵入したイノシシ